

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月17日

計画の名称	厚木市大規模盛土造成地の調査（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）											
交付対象	厚木市											
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第一次スクリーニング）で抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニングを効率的かつ的確に実施するため、優先度評価を行い第二次スクリーニング計画を作成する。 第二次スクリーニング計画の作成で抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニングを実施する。なお、調査中に住民より戦時中の防空壕の情報と宅地の沈下を考慮し、地質調査を実施する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(R2当初)	(R5末)	
1	大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画を公表し、市民等への関心を高める。 第二次スクリーニング計画公表率 (第二次スクリーニング計画公表率) = (第二次スクリーニング計画を公表した盛土造成地数) / (第二次スクリーニング計画を作成する盛土造成地数)		0%	%			100%
2	大規模盛土造成地について、第二次スクリーニングの進捗状況等を地元住民等に公表し、現状への関心を高める。 第二次スクリーニング結果公表率 (第二次スクリーニング結果公表率) = (第二次スクリーニング結果を公表した盛土造成地数) / (第二次スクリーニングを実施する盛土造成地数)		0%	%			100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input checked="" type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	----------------------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	厚木市	直接	厚木市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画作 成 71箇所	厚木市				6	-					
	A13-002	宅地耐震	一般	厚木市	直接	厚木市	-	-	大規模盛土造成地の安定 性の確認調査	第二次スクリーニング 2箇 所	厚木市				26	-					
												小計			32						
												合計			32						

## 事後評価

### 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

市内部評価

事後評価の実施時期

令和6年度

公表の方法

二次スクリーニング調査実施箇所は、箇所毎に評価を公表。また、調査に基づく全盛土の評価は、市ホームページなどで公表。

### 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

「指標1」  
第二次スクリーニング計画策定対象となる大規模盛土について、調査優先度の評価を行い、大地震による滑動崩落の検証が必要である箇所の詳細調査を行う計画を公表し、市民等の現状への関心の向上に寄与した。  
「指標2」  
調査対象となった大規模盛土造成地について、調査の内容及び調査に基づく評価結果を調査対象地の住民等を対象に公表し、現状への関心の向上に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

第二次スクリーニング計画の策定に係る調査及び詳細調査の結果として、当市のホームページにおいて、大地震によって滑動崩落が生じる可能性が高い大規模盛土造成地が確認されなかったことを公表することに合わせて、擁壁等のある宅地ごとに、土地、擁壁の所有者自身による点検、維持管理が必要であることなどを周知し、防災に関する意識の向上に寄与した。  
また、詳細調査にあたっては、地域住民から調査地の履歴等の情報提供を受け、現地の状況を考慮した調査方法より、安全に調査が実施できた。

### 特記事項（今後の方針等）

滑動崩落の兆候を把握するため、今後も、現地踏査による経過観察を実施します。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	